

IV 調査票（資料）

男女共同参画に関する市民意識調査

次の質問の答えて、該当する番号を回答用紙にご記入ください。

あなたご自身のことについてお伺いします

- I 性別による現状や意識の違いを把握し、施策の参考資料とするため、あなたの性別をお答えください。
- 1 女性 2 男性 3 その他・答えたくない
- II あなたの年齢はおいくつですか。（令和5年8月1日現在）
- 1 18～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳
4 40～49歳 5 50～59歳 6 60～69歳
7 70歳以上
- III あなたは現在結婚していますか。
- 1 現在結婚している（事実婚・パートナーシップ関係などを含む） → III-1へ
2 結婚したことはあるが、現在独身（死別含む）
3 結婚したことがない（未婚）
- III-1 IIIで「1 現在結婚している」を選んだ方にお伺いします。あなたの家庭は共働き（パートタイムを含む）ですか。
- 1 はい 2 いいえ 3 その他（具体的に)
- IV あなたは今、働いていますか。それはどのようなお仕事ですか。
- 自営業
- 1 農林漁業
 - 2 商工サービス業
 - 3 自由業（弁護士・作家・開業医など）
- 雇用者
- 4 民間会社、工場、商工サービス業など（パートタイムを含む）
 - 5 公務員、教員
- 無職
- 6 主婦・主夫（他に仕事をもたない）
 - 7 学生
 - 8 その他無職
- その他 9 その他（具体的に)

家庭生活についてお伺いします

問1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか。次の中から、1つだけお選びください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 |
| 3 どちらかといえば反対 | 4 反対 |
| 5 わからない | |

問1-1 問1で「1. 賛成」、「2. どちらかといえば賛成」と答えた方への質問
賛成と思うのはなぜですか。いくつでもお選びください。

- 1 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
- 2 自分の両親も役割分担をしていたから
- 3 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
- 4 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから
- 5 育児・介護・家事と両立しながら、働き続けることは大変だと思うから

問1-2 問1で「3. どちらかといえば反対」、「4. 反対」と答えた方への質問
反対と思うのはなぜですか。いくつでもお選びください。

- 1 男女平等に反すると思うから
- 2 自分の両親も外で働いていたから
- 3 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
- 4 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
- 5 育児・介護・家事と両立しながら、働き続けることは可能だと思うから
- 6 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから

問2 一般的に、家庭での家事、育児、介護の役割分担について、あなたはどのように考えますか。次の中から、1つだけお選びください。

- 1 男女とも同じように家事、育児、介護を行うのがよい
- 2 どちらでも手のあいている方が家事、育児、介護をすればよい
- 3 家事、育児、介護は主として女性が行い、男性は女性を手伝う程度でよい
- 4 男性は家事、育児、介護をしなくてもよい
- 5 その他（具体的に)
- 6 わからない

問3 男性が家事、育児、介護、町内会やボランティアなどの地域活動に、積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
次の中からいくつでもお選びください。

- 1 男性が家事、育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- 2 男性が家事、育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
- 3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
- 4 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
- 5 社会の中で、男性による家事、育児などについても、その評価を高めること
- 6 男性による家事、育児などについて、職場における上司や周囲の理解をすすめること
- 7 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- 8 男性の家事、育児などについての関心が高まるよう、啓発や情報提供、講座の開催などを行うこと
- 9 男性が家事、育児などを行うための、仲間（ネットワーク）づくりをすすめること
- 10 特に必要なことはない
- 11 その他（具体的に _____）
- 12 わからない

問4 生活の中での、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」（地域活動、学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお伺いします。まず、あなたの希望に最も近いものを次の中から、1つだけお選びください。

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をいずれも優先したい
- 8 わからない

問5 次に、あなたの現実（現状）に最も近いものを次の中から、1つだけお選びください。

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をいずれも優先している
- 8 わからない

職業についてお伺いします

問6 女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。

次の中から、1つだけお選びください。

- 1 女性は職業をもたない方がよい
- 2 結婚するまでは、職業をもつ方がよい
- 3 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
- 4 子どもができて、ずっと職業をもつ方がよい
- 5 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- 6 その他（具体的に _____)
- 7 わからない

問7 育児や介護、家事などに女性の方がより多くの時間を費やしていることが、仕事における女性の活躍が進まない要因の一つだという意見がありますが、あなたはこの意見についてどう思いますか。1つだけお選びください。

次の中から、1つだけお選びください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそうは思わない
- 4 そうは思わない

問8 育児や介護、家事などに費やす時間を男女間でバランスのとれたものとし、仕事と家庭を両立させるためには、特にどのような支援が必要だと思いますか。

1つだけお選びください。

- 1 長時間労働慣行の是正やテレワークの推進など、育児や介護、家事などに用いることができる時間を増やすための勤務環境の整備
- 2 育児や介護のための休業制度や短時間勤務制度など、仕事との両立を支援するための施策の整備
- 3 保育施設や介護施設の整備など、育児や介護をサポートする環境の充実

LGBT等についてお伺いします

- ・ **LGBT**：次の頭文字を合わせた言葉。総称のひとつとして使われている。
 - L（レズビアン：心の性が女性で女性を好きになる人）
 - G（ゲイ：心の性が男性で男性を好きになる人）
 - B（バイセクシュアル：男性・女性の両方を好きになる人）
 - T（トランスジェンダー：身体の性と心の性が異なる人）
- ・ **SOGI**：次の頭文字を合わせた「すべての人を含む性のあり方」を表現する言葉。
 - SO（セクシュアルオリエンテーション：性的指向）
 - GI（ジェンダーアイデンティティ：性自認）
- ・ **性的指向**：恋愛感情や性的な関心が、主に「どの性別に向いているか・いないか」ということ
- ・ **性自認**：自分がどの性別であるか、ないか、または決めたくないなどという「認識」のこと

問9 あなたは、次にあげる言葉を知っていましたか。知っていたものを、すべてお選びください。

- 1 LGBT
- 2 SOGI
- 3 性的指向
- 4 性自認

問10 あなたは、LGBT等の方々に対する理解や支援にはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から、いくつでもお選びください。

- 1 LGBT等に関する相談や支援の充実
- 2 働きやすい職場環境や福利厚生
- 3 LGBT等の方々安心して集まれる居場所づくり
- 4 幼少期からの教育の充実
- 5 行政による啓発活動
- 6 特に必要ない
- 7 その他（具体的に)
- 8 わからない

男女の人権についてお伺いします

問11 あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。次の中から、いくつでもお選びください。

- 1 売春・買春
- 2 女性のわいせつ情報氾濫
- 3 家庭内での夫婦間の暴力やパートナーからの暴力（DV）
- 4 交際している恋人同士の間でおこる暴力（デートDV）
- 5 セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
- 6 ストーカー行為（つきまとい行為）
- 7 性暴力
- 8 痴漢行為
- 9 特にない
- 10 その他（具体的に _____）
- 11 わからない

問12 あなたは、配偶者や恋人、パートナーなど親密な関係にある人からの暴力、いわゆる「ドメスティック・バイオレンス（DV）」について、経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。次の中から、いくつでもお選びください。

- 1 自分が直接被害を受けた経験がある → 問12-1へ
- 2 相談を受けたことがある
- 3 相談を受けたことはないが、当事者を知っている
- 4 テレビや新聞などで問題になっていることは知っている
- 5 見聞きしたことはない
- 6 その他（具体的に _____）
- 7 わからない

問12-1 問12で「1 自分が直接被害を受けた経験がある」とお答えの方に伺います。

あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）について、どこかに相談しましたか。次の中から、いくつでもお選びください。

- 1 家族・親族
- 2 友人・知人
- 3 警察
- 4 医師
- 5 弁護士
- 6 帯広市の女性相談
- 7 その他の行政の相談機関
- 8 民間の相談機関
- 9 相談しなかった
- 10 その他（具体的に _____）

問13 性犯罪や配偶者からの暴力など、女性に対する暴力について、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から、いくつでもお選びください。

- 1 法律・制度の制定や見直しを行う
- 2 犯罪の取り締まりを強化する
- 3 捜査や裁判における担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が届け出しやすいような環境をつくる
- 4 被害女性のための相談機関や保護施設を整備する
- 5 学校における暴力根絶のための予防教育を充実させる
- 6 人権尊重の意識を高める教育や学習を充実させる
- 7 メディア（テレビ、新聞、雑誌など）が自主的取り組みを強化し、暴力を無批判に取り扱わないようにする
- 8 過激な暴力表現を扱ったビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する
- 9 その他（具体的に _____)
- 10 わからない

問14 女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口等について、あなたが知っているものを、いくつでもあげてください。

- 1 帯広市女性相談サポートライン（女性専用DV等相談電話）
- 2 帯広市役所市民相談室
（月～金、火：市民労働相談、水：無料法律相談、木：女性相談）
- 3 女性のための人権なんでも相談所（年4回実施）
- 4 女性の人権ホットライン（女性専用人権相談電話）
- 5 よりそいホットライン（寄り添い型相談支援電話）
- 6 北海道いのちの電話（こころの健康相談電話）
- 7 特になし

問15 あなたは、「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」について、経験したり、見聞きしたことがありますか。次の中から、いくつでもお選びください。

- 1 自分が直接被害を受けた経験がある
- 2 相談を受けたことがある
- 3 相談を受けたことはないが、当事者を知っている
- 4 テレビや新聞などで問題になっていることは知っている
- 5 見聞きしたことはない
- 6 その他（具体的に _____)
- 7 わからない

問16 あなたは、「SOGIハラスメント（性的指向や性自認に関連した差別的な言動など）」について、経験したり、見聞きしたことがありますか。
次の中から、いくつでもお選びください。

- 1 自分が直接被害を受けた経験がある
- 2 相談を受けたことがある
- 3 相談を受けたことはないが、当事者を知っている
- 4 テレビや新聞などで問題になっていることは知っている
- 5 見聞きしたことはない
- 6 その他（具体的に _____)
- 7 わからない

女性活躍の推進等についてお伺いします

問17 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
1～6の中から、あなたの気持ちに最も近いものを1つだけお選びください。

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
(ア) 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
(イ) 職場で	1	2	3	4	5	6
(ウ) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
(エ) 政治の場で	1	2	3	4	5	6
(オ) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(カ) 社会通念・慣習 しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
(キ) 社会全体で	1	2	3	4	5	6

問18 問17でお聞きした分野において、女性のリーダーを増やすときに障害となるものは、何だと思いますか。次の中から、いくつでもお選びください。

- 1 必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
- 2 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
- 3 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
- 4 長時間労働の改善が十分ではないこと
- 5 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
- 6 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
- 7 その他（具体的に _____)
- 8 わからない

問19 あなたは、帯広市が男女共同参画社会づくりをすすめていくために、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から、いくつでもお選びください。

- 1 市民への男女平等、男女共同参画に関する情報提供や学習機会を充実する
- 2 悩みや、問題解決を助ける相談窓口や相談機能を充実する
- 3 育児・保育サービスの充実など子育て支援を強化する
- 4 高齢者施設や医療機関等による介護サービスを充実する
- 5 女性の就職・再就職のための職業情報、職業訓練の機会を提供する
- 6 女性を政策や方針決定の場へ積極的に登用する
- 7 企業や経営者に対して、男女がともに仕事と家庭を両立できる環境を整備するよう働きかける
- 8 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする
- 9 その他（具体的に _____)
- 10 わからない

最後までアンケートにご協力いただきありがとうございました。

回答用紙の最後に、「男女共同参画社会」に関するご意見、ご要望などがございましたら、ご記入願います。